

兵庫 庫 県
保 險 医 協 会

加古川
高砂

支部ニュース

No. 232

2014年12月15日

発行

兵庫県保険医協会 加古川・高砂支部

(連絡先) 神戸市中央区海岸通一丁目三三

神戸フコク生命海岸通ビル五階

電話〇七八(三九三)一八〇一

第33回支部総会開く

より身近で役立つ支部活動をめざそう

協会加古川・高砂支部は、11月22日、加古川プラザホテルにおいて第33回支部総会を開いた。

総会議事では、支部研究会やスタッフ研修会、「健康と医療について語り合う会」など、この1年間の諸活動を振り返るとともに、引き続き「よりいっそう、身近に存在し役に立つ支部活動」を基本に「学術研究会」や「審査・指導学習会」「スタッ

フ研修会」など、多彩な活動に取り組んでいくことを申し合わせた。(活動報告・方針別掲) また、今後の活動を進めるう

えで不可欠な、より多くの先生方の参画を促すとともに、支部幹事の引き受け手を積極的に募っていくことなどが強調され、「機会あるごとに声かけや要請を行う」ことを申し合わせた。最後に支部役員体制につい



記念講演「ポケットエコーの活用法」には26人の医師らが参加

て、引き続き岡部桂一郎先生(高砂市・協会監事)の支部長、副支部長に西村正二先生(加古川市・協会理事)を選出(いずれも留任)し、あらためて「より多くの先生方のご理解・ご協力を」との訴えがなされた。

記念講演は『超高齢社会における携帯型超音波診断装置(ポケットエコー)の活用法』をテーマに弘前大学医学部附属病院総合診療部の小林 只先生が講演。遠方の方の支部の会員も含め26人の医師らが参加。熱心な質疑も交え、時間を超えて懇親会でも活発な意見交換が続いた。

小林先生は、SONIMAG E・P3など携帯型超音波診断装置(ポケットエコー)の実演も行いながら解説。とりわけ「聴診器替わりにポケットエコーを使う感覚」「往診先での活用もデータをそのまま送信する利便性」など、「実演」「メーカーのデモ」(在宅医療ITソリューションの紹介)と相まって、まさに「日常診療に大いに役立つ講演内容」との感想が出されるなど好評をえた。

加古川・高砂支部 2013 年度活動報告

- 1、第32回支部総会(2013年11月9日)は、記念講演として全基労前執行委員長(支払基金兵庫支部)の南鉄雄氏を講師に「支払基金における審査の現状～査定・減点を減らすレセプト請求の留意点～」を開催し、医師、歯科医師、看護師、スタッフなど52人が参加した。
- 2、2014年診療報酬改定に対応した、新点数研究会を加古川でも開催(2014年3月29日)、医科会場83人、歯科会場47人が参加した。
- 3、支部研究会(2014年8月2日)は、たかたクリニック(洲本市)高田裕先生を講師に招き「日常診療におけるiPad等の活用法」を開催。医師・スタッフら11人が参加した。
- 4、スタッフ対象の接遇研修会(2014年9月13日)「ケーススタディで学ぶ患者さんとの接遇」を開催。マネジメントコンサルタントの松田幸子先生を講師に迎え、医師・歯科医師・看護師・医事スタッフら28人が参加した。
- 5、播磨町学園北自治会主催の健康講座「シニアのための健康講座—健康維持のために日常的に気をつけること」(2013年11月17日)に浅井クリニック(播磨町)浅井達哉先生を講師として派遣を行い、地域住民ら48人が参加した。
- 6、未入会員対策として、支部役員に紹介状の協力要請を行い、組織拡大に取り組んだ。
- 7、支部ニュースの定期発行に努めたが、会員投稿を募るなど一層の紙面の工夫が必要である。
- 8、支部活動の基本である幹事会の開催と支部ニュースの発行を行い、活動の推進と活性化に努力した。しかし、幹事の出席者数や会員投稿掲載などでは改善の余地があり、引き続き努力していきたい。
- 9、加印社会保障推進協議会への参加・協力を行った。加印地域2市2町に「社会保障施策についての要望書」を提出し、懇談の要請を行った。

加古川・高砂支部 2014 年度活動方針

- 1、会員の要望をもとに、学術研究会や気軽に参加できる会員懇談会などを積極的に行う。また、在宅医療への取り組みや、医科歯科共通の研究会などを開催する。
- 2、保険請求や審査、指導・監査に関する情報交流や医院経営問題など、協会ならではの活動に力をつ注ぐ。
- 3、引き続き「接遇研修」「医療安全管理対策」に関する研究会や講習会など、スタッフも含めた企画を引き続き開催する。
- 4、未入会員対策として、引き続き新規開業医とともに勤務医対策にも力をそそぐ。
- 5、加印社会保障推進協議会は、会長を引き受けている団体として一層努力する。特に医療制度問題では積極的な協力・共同をはかるとともに、「健康と医療について語り合う会」などを通じ、他団体との交流を強める。
- 6、日常診療に役立つ情報、地域の情報提供、さらには「会員さん紹介」などを企画し、会員相互のコミュニケーションを培う支部ニュース作りをめざす。
- 7、支部活動の基礎となる幹事会の充実のため、出席者の確保をふくめ改善をめざす。そのために会員の積極的な参加を促す。

保険医協会の3大共済制度をお奨めします!

医師・歯科医師の老後設計に最適

(拠出型企業年金保険)

保険医年金

- 月払:1口1万円～(通算30口まで)
- 一時払:1口50万円～(毎回40口まで)
- 自在性が魅力!
 - ・急な出費にも1口単位で解約可能
 - ・払込が困難なときは掛金中断、余裕ができれば掛金再開
- まとまった資金は「一時払」で上乗せ(毎回2000万円まで)

万一のためのコストは安さが魅力です

(団体定期生命保険)

グループ保険

- 毎年高配当を継続
 - 過去5年平均の配当率4.5%
- 団体保険だから断然安い保険料
- 最高5000万円の高額保障
- 配偶者1000万円のセット加入あり
- いつでも増額・減額できます
- 医師による診査はありません

医師賠償責任保険

医療上の事故、医療施設の事故に伴う賠償責任の備えに

会員のご家族、医療機関のスタッフもご加入OK!

(保険料はご加入者各自の銀行口座から引き落とします)

所得補償保険

うつ病等の精神障害による就業不能も補償/入院は1日目から、自宅療養は5日目から補償

病気やケガの休業に備えて、高い保険料を払っていませんか?

休業保障制度

1. 最長75歳まで、730日の充実保障
2. 割安な掛金が満期まで上がりません
3. 掛け捨てではありません
4. 弔慰・高度障害給付あり
5. 自宅療養、代診をおいても給付
6. うつ病等の精神疾患、認知症も給付

兵庫県保険医協会共済部 (☎078-393-1805)

支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

電話 078-393-1803 FAX 078-393-1802

e-mail togo@doc-net.or.jp 担当: 都甲・松村

